



判型： A5判 ページ： 352頁
定価 3,960 円 (本体3,600+税10%)
ISBN978-4-276- 20027-2

Profile

飯守泰次郎(いいもりたいじろう)

桐朋学園大学音楽科卒。
藤原歌劇団公演《修道女アンジェリカ》でデビュー。
読売日響指揮者、ブレーメン、マンハイム、ハンブルク、
レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスヘデ市立歌劇団
第一指揮者、東京シティ・フィル、名古屋フィル、関西フィル
仙台フィルの常任指揮者を歴任。
ヨーロッパの歌劇場で積み上げてきたオペラに対する深い造詣、
特にワーグナー作品を積極的に日本楽壇へ紹介した功績は特筆される。
新国立劇場第6代オペラ芸術監督として《パルジファル》、《ニーベルング
の指環》を含むワーグナー作品で特に高く評価されるなど、同劇場の
国際的地位の飛躍的向上を実現。

東京シティ・フィルおよび関西フィル桂冠名誉指揮者、日本芸術院会員の在任中の2023年8月急逝。

芸術選奨文部科学大臣賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、日本芸術院賞、毎日芸術賞、文化功労者、旭日中綬章、他受賞多数。



のご注文も可能です。PC・スマホからいつでもご発注いただけますご利用ください。

(貴店名・帳合)

(注文)

新刊！

指揮者 飯守泰次郎
ワーグナーと人生を語る 飯守泰次郎 著
A5判 ·352頁 ISBN:978-4-276-20027-2
定価 3,960円(本体3,600円+税10%)

指揮者 飯守泰次郎 ワーグナーと人生を語る

稀代のワーグナー指揮者、
飯守泰次郎、初の著作、そして遺作。

ワーグナー作品の真髄が、ここに語り継がれる。
氏が、ワーグナーの音楽について折にふれ書き、語り
尽くした“言葉”的な数々を一大集成。
時系列に沿った作品ごとのオリジナル解説のほか、飯
守氏自身の人生を振り返る回顧録も収録。

Contents

- ワーグナーを語る（一）三つの手がかり
- 人生を語る（一）生い立ち～カペルマイスター修業時代
- ワーグナーを語る（二）創作前期から中期まで・作品解説I
歌劇《さまよえるオランダ人》
 - ・作品解説II 歌劇《タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦》
 - ・作品解説III 歌劇《ローエングリン》
 - ・作品解説IV 楽劇《トリスタンとイゾルデ》
 - ・作品解説V 楽劇《ニュルンベルクのマイスターージンガー》
- 人生を語る（二）花ひらく～ドイツの歌劇場在籍時代
- ワーグナーを語る（三）
 - ・作品解説VI 序夜《ラインの黄金》
 - ・作品解説VII 第一日 楽劇《ワルキューレ》
 - ・作品解説VIII 第二日 楽劇《ジークフリート》
 - ・作品解説IX 第三日 楽劇《神々の黄昏》
- 人生を語る（三）在オランダ時代
- ワーグナーを語る（四）
 - ・作品解説X 舞台神聖祝祭劇《パルジファル》
- 人生を語る（四）終章
ほか